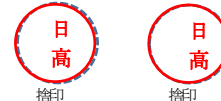


記入例

農用地利用権設定等申出書



〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 日高市長

委員名

下記のとおり、農業経営基盤強化促進法により 利用権 の設定 (移転) したいので、申し出ます。

申出者

	住 所	地 区	電 話 番 号	氏 名	生 年 月 日
(A)利用権の設定 (移転) を受ける者 (借受人)	日高市大字南平沢 1020 番地 1		04Z-989-2111	日高 太郎	〇〇年〇〇月〇〇日
(B)利用権の設定 (移転) をする者 (貸付人)	日高市大字南平沢 1020 番地 2		04Z-989-2112	日高 花子	〇〇年〇〇月〇〇日

(公告日 年 月 日)

1. 申し出の内容

(C)利用権を設定 (移転) する土地						(D)設定 (移転) する利用権							備考
区域	所在			現況地目	面積	内容	始期	終期	存続期間	借賃 (10a 当り)	借賃の支払方法	支払期限	
	大字	字	地番										
農振	南平沢	柏木	1020 番 3	畑	100	普通畑利用	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	1年	500 (5,000)	口座	4月末日まで	賃貸借
農振	南平沢	柏木	1020 番 5	畑	100	普通畑利用	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	1年	野菜5kg	物納	4月末日まで	賃貸借
その他	南平沢	柏木	1020 番 4	田	100	水田利用	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	1年				使用貸借

(E)設定 (移転) する土地の(B)以外の権原者等の有無 → 1. なし 2. あり (同意書、別紙のとおり)

2. 共通事項 別紙のとおり

3. 利用権の設定 (移転) 等を受ける者の農業経営の状況等

利用権の設定 (移転) 等を受ける土地の面積(A)	氏名又は名称		日高 太郎		性別	男・女	農作業従事日数	150 日	家畜の飼養状況	農機具の所有状況	
	農地	現に耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積 (B)		主たる経営作目 (C)	世帯員 (構成員) の農作業従事及び雇用労働力の状況(D)						
		300 m ²			世帯員(構成員)	農業従事者 (うち 15 歳以上 60 歳未満の者)		乳牛 頭	耕耘機 1 台		
	牧草放牧地	自作地	3,000 m ²	大根 白菜 米	男 1 人	農業専従者 (年間 150 日以上 従事)		豚 頭	トラクター 1 台		
m ²	借入地	1,000 m ²	女 1 人		男 1 人 (人)	女 1 人 (人)	鶏 羽	もみすり機 台			
その他	合計	4,000 m ²	農業雇用労働力 (年間延日数)		農業補助者	主として農業に従事する者	男女 人 (人)	乾燥機 台			
m ²	牧草放牧地	m ²		延日	従として農業に従事する者	男女 人 (人)	田植機 1 台				
								コンバイン 1 台			
								トラック 1 台			

(記載する際の注意事項)

- 申出書は、利用権設定の当事者ごとに別葉とする。利用権の設定を受ける者が同一で、利用権を設定する者が異なる場合には整理番号に枝番を付して整理する。
- (C) 欄は、大字別に記載する。
- (C) 欄の「面積」は、登記簿によるものとし、登記簿の地積が著しく事実と相違する場合、登記簿の地積がない場合及び土地改良事業による一時利用の指定を受けた土地の場合には、実測面積を () 書きで下段に 2 段書きにする。なお、1 筆の一部について利用権が設定される場合には、〇〇〇〇m²の内〇〇〇〇m²と記載し、当該部分を特定することのできる図面を添付するとともに、備考欄にその旨を記載する。
- (D) 欄の「利用権の種類」は、「賃貸借」等と記載する。
- (D) 欄の「内容」は、利用権の設定による当該土地の利用目的 (例えば水田として利用、普通畑として利用、樹園地として利用、農業用施設用地 (畜舎) として利用等) を記載し、水田裏作を目的とする賃貸借等の場合にはその利用期間を併記する。
- (D) 欄の「存続期間 (終期)」は、「〇年」又は「〇〇年〇〇月〇〇日 (始期) から〇〇年〇〇月〇〇日まで」と記載する。
- (D) 欄の「借賃」は、当該土地の 1 年分の借賃 (期間借地の場合には、1 年のうち利用期間に係る分の借賃) の額を記載する。
- 備考欄には、当該土地の利用権設定が農業協同組合法第 10 条第 3 項に規定する信託に係るものである場合は、信託財産である旨及び当該信託に係る委託者の氏名又は名称及び住所を記載する。